

CURRICULUM

学部 ★必修科目 ☆選択科目 *選択必修科目 ◇専攻必修科目

2014年度より新カリキュラムが導入されたため、編入学生については、一部科目の扱いに違いがある。

	1年	2年	3年	4年	
外国語科目・保健体育科目 学際基礎科目・神学基礎科目	【学際基礎科目】 *哲学思想史 *キリスト教と世界史 *キリスト教と文学1 世界文学 *キリスト教と文学2 日本文学 *キリスト教と芸術1 美術史 *キリスト教と芸術2 音楽史 *心理学 *社会史 *法と人権1 法学概論 *法と人権2 日本国憲法 *宗教と社会1 デモクラシーと政治 *宗教と社会2 ウェーバーとトレルチ *精神医学とキリスト教 *現代の自然観 *生命の理解とバイオエシックス *保健衛生 *情報基礎	【神学基礎科目】 ★キリスト教通論Ⅰ・Ⅱ ★聖書通論1 旧約通論 ★聖書通論2 旧約時代史 ★聖書通論3 新約通論・歴史 ★神学通論 【外国語科目】 ★英語ⅠA ★英語ⅠB ☆英語Ⅱ ☆英語実践Ⅰ・Ⅱ ★ドイツ語ⅠA ★ドイツ語ⅠB ☆ドイツ語Ⅱ 【保健体育科目】 ★体育Ⅰ・Ⅱ	1年次入学者は、原則としてこれらの科目を2年間かけて履修・修得する。 3年次編入学者の場合、神学通論を除き、基本的にこれらの科目が認定されるが、履修を奨励している。		
専門教育科目		【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★新約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★ギリシャ語Ⅰ・Ⅱ 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅰ 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅰ・Ⅱ 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。	【聖書神学関係】 ◇ヒブル語Ⅰ・Ⅱ ☆イスラエル古代史 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ★宗教史Ⅰ ☆宗教史Ⅱ (編入学者は必修) 【古典語】 ☆ラテン語Ⅰ・Ⅱ 【神学書講読】 *英語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織歴史Ⅰ・Ⅱ	【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅲ ☆旧約聖書神学Ⅳ ★旧約聖書積義 ★新約聖書神学Ⅲ ☆新約聖書神学Ⅳ ★新約聖書積義 ◇新約原典講読Ⅰ ☆新約原典講読Ⅱ ☆新約時代史 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅲ 【歴史神学関係】 ☆アメリカ教会史 ☆教理史Ⅰ・Ⅱ	【実践神学関係】 ★実践神学概論 ★キリスト教教育概論 【専攻間共同科目】 ☆アジア伝道論演習 【学部演習】 *旧約聖書学部演習 *新約聖書学部演習 *組織神学学部演習 *歴史神学学部演習
教職課程科目	教職概論 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。	教育基礎論Ⅰ・Ⅱ 宗教科教授法A・B	心理発達と教育 道徳指導法 特別活動指導法 教育的指導と相談の研究Ⅰ・Ⅱ	教育の方法と情報技術Ⅰ・Ⅱ 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ・Ⅱ	

※教職課程科目は、教育職員免許状取得希望者対象。免許状取得に必要な科目の履修・修得には最低でも3年間を要するが、3年次編入学者は、大学院修了までに専修免許状取得を目指すことができる。

研究科(大学院) + 実践神学研修課程として、原則的に必修。

前期課程	後期課程
【聖書神学関係】 旧約聖書原典講読Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書神学特講Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学演習Ⅰ・Ⅱ 聖書考古学 アラム語 シリア語 アッカド語 古代オリエント史Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学特講Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学演習 新約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 新約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ 【歴史神学関係】 教会史演習 教理史演習Ⅰ・Ⅱ 教会史特講Ⅰ・Ⅱ 教理史特講Ⅰ・Ⅱ 英国教会史 【実践神学関係】 宗教社会学演習 教会音楽 キリスト教教育特講 教会心理学特講 教会カウンセリング特研 キリスト教教育特研 実践神学演習 臨床教会教育 教会心理学 +礼拝学演習 +説教学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ +牧会学演習 総合特別講義	【聖書神学関係】 旧約聖書神学特殊研究 旧約聖書文学特殊研究 旧約聖書原典特殊研究 聖書語学特殊研究 聖書考古学特殊研究 新約聖書神学特殊研究 新約聖書原典特殊研究 聖書解釈学特殊研究 原始キリスト教特殊研究 【歴史神学関係】 神学史特殊研究 宗教改革史特殊研究 日本宗教思想史特殊研究 教父学特殊研究 【実践神学関係】 キリスト教化学特殊研究 キリスト教教育特殊研究 【論文演習】 博士論文指導演習聖書神学 博士論文指導演習組織神学 【組織神学関係】 教義学特殊研究 現代神学特殊研究 宗教改革神学特殊研究 現代哲学特殊研究 組織神学共同演習 キリスト教社会倫理特殊研究



神学の学びと研究は、教会で福音が正しく、より深く生き生きと語られるようになるためのもの

組織神学は、聖書の伝える神とはどのようなお方か、その神は私たちに何をしてくださっているのかを、論理的体系的に理解しようとする学問です。近年は、神がただお一人の神であるというだけでなく、父・子・聖霊なる三位一体の神であることが信仰全体にどのような影響を与えているかが探究されるようになりました。そして、天地創造や救済といった神の御業をこの観点から説明することで、私たちに与えられている信仰をより深く理解することが模索されています。

私自身は、その視点を共有しつつ、既に17世紀に同じ関心を持っていたイングランドのピューリタンがあることにも着目しています。日本の教会は、国が教会を建てる国教会では

なく、私たちが自発的に伝道し教会を形成して行く自由教会の形態をとっていますが、そのピューリタンたちは、国教会から離れて自由教会を形成した人々でもありました。その神学を学ぶことは、現代の日本の教会の信仰とそのあるべき姿が整えられて行くための助けにもなるはずと思います。

神学の学びと研究は、教会で福音が正しく、そしてより深く、生き生きと語られるようになるためのものです。それを通して、日本伝道、そして世界伝道に仕えたいと思います。

● 須田 拓 (すだ たく)

東京大学理学部数学科を卒業後、本学に編入し、東京神学大学大学院、ケンブリッジ大学大学院で学び、現在、東京神学大学常勤講師として組織神学の講義を担当。神学博士。日本基督教団橋本教会の牧師を兼務。温厚な人柄のうえに明晰な頭脳で、キリスト教信仰の核心を的確に弁証。ピューリタンの神学者ジョン・オーエンの研究を継続中。

一般時間・公開授業など多彩な学び

一般時間には、外部から著名な講師を招いての講演会、本学の教員によるフォーラム、さらには学生会の総会や懇談会など、年間を通じて多彩なプログラムが実施されます。学部生・大学院生共に神学と諸学の学び、学生生活を共有する貴重なひと時です。また、国内外の講師による公開授業も行われます。



セント・アンドリュース大学
スコット J. ヘイフマン博士による
公開授業



神学フォーラムII



博士課程後期課程
研究発表会



神学フォーラムI



全学集会

